

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	鉄筋コンクリート組積造設計・計算規準検討小委員会	主 査 名：西田哲也 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：稲井 栄一
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>これまで、壁式構造運営委員会では、「鉄筋コンクリート組積造構造設計・計算規準原案検討WG」および「鉄筋コンクリート組積造構造設計・計算規準原案作成WG」を設置し、新しい規準の原案を作成してきた。本小委員会では、WGでの活動成果を基に、試設計を実施してさらに規準案の問題点を洗い出して検討し、それらの修正を加えて新しい「鉄筋コンクリート組積造構造設計・計算規準」を刊行することを目的とする。</p> <p>初年度：設計例とする建物を選定、試設計を実施し、その結果を基に規準本文および解説の修正を実施する。</p> <p>2 年度：設計例を確定し、規準全体の原稿を作成のうえ、査読を実施し、原稿の入校を行う。</p> <p>3 年度：入校原稿に対する校正を実施し、規準を出版する。その基準を基に講習会を実施する。</p> <p>4 年度：講習会の結果を踏まえつつ、今後の鉄筋コンクリート組積造設計・計算規準のあり方と改定の方針を検討する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：西田哲也 (秋田県立大学) 幹事：楠浩一 (東京大学)、黒木正幸 (大分大学) 委員：稲井栄一 (山口大学)、井上芳生 (INO 建築構造事務所)、岡部喜裕 (力体工房)、高橋和雄 (太平洋セメント工業)、勅使川原正臣 (名古屋大学)、時田伸二 (UR 都市再生機構)、西野広滋 (トーホー)、向井智久 (建築研究所)、尾崎純二 (宇部興産)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>鉄筋コンクリート組積造設計・計算規準検討WG：試設計案の作成で明らかとなった規準本文および解説の要修正事項の検討</p> <p>鉄筋コンクリート組積造試設計WG：設計例とする建物の選定と試設計案の作成および規準本文・解説の要検討事項の洗い出し</p>	
2017年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 試設計を見据えて設計例とする建物を選定したが、試設計を十分進めるには至らなかった。</p> <p>2. 規準については問題点を洗い出し、検討を進めた。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 本構造を用いた魅力ある建物という視点での議論に時間を費やしすぎてしまったことと小委員会・WG の日程調整に手間取ったため、試設計建物の選定に遅延が生じた。今後スケジュール管理を強化するとともに、テレビ会議による参加も検討する。</p>